電子データで編集する際に、記入欄を広げていただいて構いません。

対象経費の具体例（スタート支援）

収入

科目	金額	内訳
1　団体収入	11,000	「湘南海辺つながりの会」にて負担（会費、団体への寄附等、団体資金から充当）
2　事業収入	0	参加費無料
3　補助金収入	94,000	市民活動推進補助金
合計	105,000	

支出

科目	金額	内訳
1　謝金	24,000	外部講師への謝礼　6,000円×1人×4回（7月）＝24,000円
2　旅費	4,000	外部講師交通費1,000円×1人×4回＝4,000円
3　物品費	52,000	清掃用トング600円×30本＝18,000円 軍手150円×30双＝4,500円、ごみ袋300円×5組＝1,500円 観察用ルーペ800円×10個＝8,000円 観察用トレー400円×10個＝4,000円 デジタルはかり16,000円×1台＝16,000円
4　印刷製本費	8,000	◎チラシ1,000枚（ネット印刷）2,100円 ◎★団体ＰＲパンフレット500枚（ネット印刷）5,900円
5　通信運搬費	2,000	事業案内・関係機関への資料送付（郵送料）140円×10通＝1,400円、講師への資料送付（郵送料）150円×4通＝600円
6　保険料	12,000	レクリエーション保険（参加者用） 100円×30人×4回＝12000円
7　使用料・貸借料	3,000	茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラス1F-1集会室 1時間300円×2時間×5回＝3,000円
合計	105,000	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、物品購入理由書を提出してください。

スタート支援の補助上限額は総事業費から事業収入及び他の補助金等を控除した額に補助率（９０%）を乗じた額または１０万円のいずれか低い額です。

この事業の場合には、

（105,000円（総事業費）―0円（事業収入））×９０%補助率＝①94,500円と②100,000円では、①のほうが低いため、補助上限額は、94,000円（千円未満切り捨て）です。

電子データで編集する際に、記入欄を広げていただいて構いません。

第４号様式（第７

記入例（スタート支援）

主な選考の視点
「費用の妥当性」
「事業実現性」
「自立性」

収支予算書

「収支予算書」は、**市民活動推進補助事業の補助を希望する事業に要する事業費のみ**について記入してください。
（団体のすべての予算を書くものではありません。）

収入

科目		内訳
１	会費収入 ■■■	
２	事業収入 ■■■	参加者負担費用 ■■円×〇人
３	寄附金収入 ■■■	
４	補助金収入 ■■■	市民活動推進補助制度
合計	▲▲▲	

市民活動推進補助金は、「補助金収入」の区分に計上してください。

市民活動推進補助事業の補助額は、千円未満の端数は切り捨てです。
★計算方法：総事業費から事業収入及び他の補助金等を控除した額に補助率（９０％）を乗じた額または１０万円のいずれか低い金額です。

「収入の合計額」と「支出の合計額」は同額としてください。

支出

科目		内訳
１	賃金（会員外） ■■■	アルバイト ■■円×〇人×〇日
２	謝金 ■■■	■■円×〇人×〇日
３	旅費 ■■■	■■駅～■■駅（往復） ■■円×〇人×〇日
４	物品費 ■■■	（物品名）■■円×〇個
５	印刷製本費 ■■■	◎チラシ■■枚　印刷代■■円 （ネット印刷＋デザイン）
	■■■	◎★団体パンフ■■枚（ネット印刷）
６	通信運搬費 ■■■	■■円切手×〇枚
７	使用料・賃借料 ■■■	■■会館■■会議室
合計	▲▲▲	

支出については、原則として、「市民活動推進補助事業のご案内」の５ページに記載の対象経費の科目ごとに区分し、積算の根拠を詳しく記入してください。
団体の運営費は補助の対象になりません。

内部への謝金は補助の対象になりません。

消費税は１０％で計算してください。

様式に既に記入されている経費科目のうち、不要なものは削除して構いません。
また、必要があれば、科目名を修正・追加することも可能です。

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、１万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、物品購入理由書を提出してください。

備考１　示された支出科目は、必要に応じて削除又は名称を修正することができます。
備考２　内訳のうち、自団体のＰＲに係る経費については頭に★を付けてください。
備考３　デザイン、印刷、WEB 制作等事業の一部を外部委託の際は、頭に◎を付け内訳を記載してください。